

令和8年度 第2回 川崎市地域公共交通会議 議事録

1. 開催概要

開催日時	令和8年8月6日（木）10時00分から11時20分まで		
開催場所	川崎市役所本庁舎 203 会議室		
議 事 （公 開）	(1) 麻生区片平地区コミュニティ交通「かきまる号」の本格運行について【協議事項】 (2) 令和8年度第2回川崎市地域公共交通会議運賃分科会について【報告事項】 (3) 令和7年度に実施したコミュニティ交通の導入に向けた取組について【報告事項】 (4) 地域公共交通に係る意見交換【報告事項】		
出席委員 (14 名)	(敬称略)		
	所 属	氏 名	備考
	東海大学 工学部土木工学科 教授	梶田 佳孝	
	名古屋大学 特任准教授	有吉 亮	
	川崎鶴見臨港バス（株）取締役 運輸部担当 兼 人事部長 （一般乗合旅客自動車運送事業者）	岩田 貴	欠席
	川崎タクシー株式会社 代表取締役会長 （一般乗用旅客自動車運送事業者）	関 裕之	
	明生タクシー株式会社 常務取締役 （一般乗用旅客自動車運送事業者）	村岡 孝夫	代理出席 中島部長
	高砂交通株式会社 総務部長	増村 幸一	
	一般社団法人 神奈川県バス協会 専務理事	関上 義明	
	一般社団法人 神奈川県タクシー協会川崎支部 事務局長	稲田 正治	
	川崎市全町内会連合会 副会長	川島 要子	
	市民（公募による選出）	坂尾 雅之	欠席
	市民（公募による選出）	谷岡 功一	
	国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局 首席運輸企画専門官	春原 和洋	
	神奈川県県土整備局都市部交通政策課 副課長	河津 智則	代理出席 田辺副技幹
	神奈川県交通運輸産業労働組合 幹事	小塚 弘之	代理出席 山本書記長
	神奈川県警察本部 交通部 交通規制課 都市交通対策室長	平田 修	欠席
	川崎市 建設緑政局 総務部長	川島真由美	
	川崎市 まちづくり局 交通政策室長	塚田 雄也	
	事 務 局	5 名	
傍 聴 者	0 名		

2. 会議内容

以下、進行内容を要約して記載。

(1) 麻生区片平地区コミュニティ交通「かきまる号」の本格運行について 【協議事項】

(2) 令和8年度第2回川崎市地域公共交通会議運賃分科会について 【報告事項】

梶田 会 長 まず、報告事項の「議事1、麻生区片平地区コミュニティ交通「かきまる号」の本

格運行について」及び「議事 2、令和 8 年度第 2 回川崎市地域公共交通会議運賃分科会について」を続けて、事務局より説明をお願いします。

事務局 (資料 1、2 により、内容を説明。)

梶田会長 はい、ありがとうございました。それでは、麻生区片平地区コミュニティ交通「かきまる号」の本格運行について、報告いただきました。ご説明いただいた内容について、何かご質問等ございましたらお願いできればと思いますがいかがでしょうか。

春原委員 実証実験を経ての本格運行ということですが、どのくらいの収支であれば本格運行へ移行する等の基準はどのようなものを設けているのでしょうか？

事務局 本格運行については明確な基準は定めておりません。乗客の方が少ない等ありましたら公共交通としては認められない場合もありますし、一番の課題である収支の面、運賃収入と協賛金においては、エリアパートナー企業や個人サポーターの方から協賛金をいただいておりますが、市としては一定の水準以上にならないと本格運行は厳しいという考えを持っており、一つの判断基準としています。明確な基準というものは定めておりませんが、本市の要綱では市の補助金を全体の 3 分の 1 と定めており、運賃と協賛金の収入が全体の 66%を超えないと事業として成り立たないという仕組みを持っており、それが一つの目安となっています。その点については 1 回目の実験では達成できていない結果となっています。

有吉副会長 つばめ号のとは違い、かきまる号は実証実験を 1 年程度圧縮して本格運行に進んでおり、地元とのチューニングがまだ出来ていない印象があるので、是非本格運行後も地元の意見を聞いていただき、どのような利用をされているのか等データにより可視化してより良い使い方が出来るよう議論を重ねていただきたい。

事務局 今までも協議会を月に 1、2 回程度行っておりまして、本格運行後も定期的を実施し、引き続き議論をして適宜見直しを行っていきたいと考えています。

有吉副会長 自分たちが関わることでその乗り物が自分たちの地域を支える物として認識いただくことで、乗らなくても協力するという意識につながるような、地域のつながりを持つ場としても協議会での議論は続けていただきたいです。

関委員 春原委員からご質問があった、上手くいったかどうかの基準はまだ明確に定まっていないというところで、事業者としては以前と比較して乗務員さんの給与が上がっている状況であり、年収 600 万以上を求めてタクシー業界に入っている中でお願いをして運行してもらっているため、もう少しこれが成功か失敗かという基準は挙げていただきたいです。

梶田会長 運賃については意見なしでよろしいのでしょうか？もう少し上げてほしい等ありませんでしたか？

事務局 運賃分科会にあたって、公聴もしましたが今回特にご意見はありません。実際に利用者アンケートを取っている中で、もう少し安くければ嬉しい等の意見はいただいておりますが、協議会をする中で収支を理解されている関係者の皆様からは運行を続けるためにはこのくらいが妥当ではないかという意見もある状況です。

有吉副会長 利用者の方からこのぐらゐの運賃であれば乗るという意見はないのでしょうか？

事務局 この地区では今回 300 円の料金設定としていますが、その少し下の 200 円程度が良いとの意見もございます。中には 500 円出しても良いという方もいらっしゃる状況です。

有吉副会長 もう少し金額を細かくしてアンケートを取って、どの金額なら乗ってもらえるのかを地域によっても需要が違うという点から見極めていくことも継続的な運行に必要なことだと思います。

川島真委員 1 回乗車 300 円で 10 回綴り回数券が 2,000 円ということで、沢山乗られる方が安く乗ることが出来るようになっているものと思いますが、回数券のご購入を推奨されているのでしょうか？

事務局 回数券の利用で運賃が安くなる設定ではございますが、運転手さんへの支払い及び処理の手間が省けるという点から、なるべく回数券に移行していきたいという考えを持っております。今現在の回数券の利用率は 50%弱となっております。

谷岡委員 つばめ号の参考にどのような形で地域の皆さんに参画を促すか、どのような施策をすれば成功するのか等共有いただきたい。

事務局 地域特性として、協議会の方たちに地域の繋がりが深い方が多く、色々な方が、通っている病院等色々な場所にお声がけをしていただいて協賛パートナーが増えている状況で、地元の皆さんが自分事としてお声がけすることで協賛パートナーが増えています。

梶田会長 はい、ありがとうございます。それでは「かきまる号」に関する協議事項に関しまして、協議が調ったということで本格運行に向けて進めていただきます。

（３）令和 7 年度に実施したコミュニティ交通の導入に向けた取組について【報告事項】

梶田会長 ありがとうございます。他にご質問はございませんでしょうか。

それでは続いて、「議事 3、令和 7 年度に実施したコミュニティ交通の導入に向けた取組について」につきまして、事務局より説明をお願いします。

事務局 （資料 3 により、内容を説明。）

梶田会長 はい、ありがとうございました。それでは、先ほどのご説明の内容で何かご質問等ございましたらお願いできればと思います。いかがでしょうか。

関委員 のるーと KAWASAKI は本格運行をされているということでしたが、本格運行を開始した 4 月以降の実績はどのような状況でしょうか？

事務局 実証運行では市としても補助出しておりましたので、実験結果等運行に係る情報をお出し出来ておりましたが、本格運行では民間事業として経営に係る部分がございますのでお答え出来かねます。

有吉副会長 事業化されているので、経営の観点から情報が出せないことは理解できますが、公共交通という観点では地域の運行を担っている取組になりますので、公共交通としての成果を川崎市としてどう考えているのかを踏まえて事業がうまくいっているのか等の検証は続けて、その乗り物が地域に根付くにはどうしたらよいか等の検討していくことも重要であると思います。

事務局 市としても検証は続けていきたいと考えております。特に周知・広報に関しては一定程度の補助もしながら続けていきたいと考えており、まずは知ってもらわないことには持続的な取組には繋がらないので、地元町内会等に周知・ご挨拶に伺うなど、地域を担う公共交通として連携を図ってまいります。

有吉副会長 事業者目線での成果を上げていくことも継続する事業としては大切ですが、一方で地域の目指す姿に対してどのような形で対応していくか、例えば子育て世代の方で日中の外出を諦めていた方が、この乗り物があることで外出できるようになったり、それにより市街地に賑わいが生まれた等の細かい評価を集めていくことで、地域の目指す姿に近づいていくと思われまますので、ぜひ川崎市でもそのような成果検証をしていただきたい。

(4) 地域公共交通に係る意見交換【協議事項】

梶田会長 それでは最後ですが「議事 4、地域公共交通に係る意見交換」につきまして、これまでの取組報告を含め、委員の皆様から、川崎市の交通課題に関するご意見・ご質問、または昨今の状況について情報共有等がありましたらお願いいたします。

関上委員 バス業界の現状としては、先ほどタクシー運転手の給与が上がっているお話がありました。バスの運転手についても同様に、毎年給与が上がっている状況です。各バス事業者でドライバー確保に向けて待遇改善をするために給与を上げていますが、その原資となる部分については運賃改定などを検討しております。その中でどこまでバス運賃を上げて良いのかという議論になっています。現在の目安となる上限運賃は 270 円ですが、数年後にはその 270 円まで上がる可能、あるいは上限運賃が足りなければ上限運賃を設定し直して更に上がる可能性があります。そうするとバスの乗車率も下がり、減便になってしまうという悪循環にもなり得る状況であることを、懸念事項として共有いたします。

梶田会長 2 種免許の取得率も増えているのでしょうか？

関上委員 ドライバー自体は横ばいのため 2 種免許保持者が増えている印象はありません。

有吉副会長 整備士の給与はどのような状況でしょうか？

関上委員 整備士の方が深刻な人手不足ため、外国人労働者を雇用したりして対応しており、給与についても上がっている状況です。

有吉副会長 待遇が良くなって応募者が増えてきた印象はありますか？

関上委員 ドライバーは減少傾向にありましたが、給与等の待遇改善をすることで、R4 以降横ばいと、減少を食い止めることが出来ている状況と言えます。

有吉副会長 運賃を改定することで利用者数にも変化があるのでしょうか？

関上委員 乗車数でみると平成 30 年のコロナ期以降、毎月 10% ずつ減少している状況で、そこはもう戻らないと言われてしています。

塚田委員 利用者の状況については数字でみると 10% 減ですが、実際にはバス便数自体も 10% 減便しているため、バス事業者さんに伺った話では現状満員の状態で運行をしているというお話でした。便数が減ったことに伴い利用者も減っている印象です。

梶 田 会 長 ありがとうございます。他にございますでしょうか？

稲 田 委 員 タクシー協会からは 2 点お願い事項がございまして、まず 1 点目にジャパントクシー購入にあたっての補助をお願いします。理由としましては、毎年、スライドドアをご希望の高齢者・障がい者の利用者が増えており、UD タクシーの要望が強くある状況です。川崎の事業所では全体のタクシー車両 1,439 台あり、その内スライドドアは 587 台で全体の 40%と、残り 60%は対応できていない状況です。GO アプリなどでスライドドアの指定をいただくと、車両指定料金 1,000 円程度がかかってしまうため、利用者の方にとっても車両指定をせずスライドドア車に乗れることは大変利便性が高まります。また毎月実施している川崎市の障がい者福祉券の集計では、6 月では 53,229 枚と前年よりも 5,701 枚も増えている状況で、毎年高齢者、障がい者の方が増えていることが分かります。横浜市では UD タクシーに対して 12 万ほどの補助がありますが、川崎市としても補助を出していただきたいと考えています。2 点目は、タクシー運転手の確保について、乗務員がまだまだ足りない状況ですので、市役所発信で会社説明会、労働説明会等を実施していただきたいです。川崎市で実施していただくことである程度適性等も見極めることが出来ると思われしますので、ぜひ実施いただきたい。

事 務 局 ありがとうございます。ご要望が 2 点ということですが、前者についてはこの場ですぐにできお答えできるものではありませんが、ご紹介いただいたデータ等を踏まえて検討を進めていきます。後者の説明会については、川崎市で開催するというよりも、開催する中で一緒に協力して進めていくことは可能性があると思われしますので、具体のこういったものをこういった形で実施するのが良いか等情報共有いただきながらより良い形で実施できればと思います。

塚 田 委 員 たしかに UD タクシー補助については川崎市としてはミニバンタイプを前提にして補助を再開しておりますので、ぜひそちらをご活用いただければと思います。

関 委 員 ジャパントクシーは対象では無いのでしょうか？

塚 田 委 員 ジャパントクシーは対象ではありません。横浜市域ですとミニバンタイプのタクシーが多くありますが、川崎市域としてはミニバンタイプの車両が非常に少ない状況がございます。川崎市としてはコミュニティ交通やデマンド交通に活用できる、大人数が移動できるタイプの車両を推奨したい考え、併せて運行についてもご協力いただきたいという考えを持っておりまして、UD ジャンボタクシーに対して補助を出しております。UD タクシーがメインというよりは 3 列タイプのミニバン車両を推奨しております。

関 委 員 ミニバンタイプの補助については承知いたしました。川崎タクシーとしてはジャパントクシータイプの UD タクシーについても補助を復活してほしい意向があります。地域公共交通会議としては交通空白を解消する事と考えていて、その中で、まずすべきこととしてはドライバーを増やして需要の高いタクシー車両を確保していくことだと思いますので、その中でジャパントクシーの補助についても地域にとってはプラスになると思いますので、引き続き検討いただければと思います。

有吉副会長 今日教えていただいたこととして、スライドドア仕様のタクシーであれば外出で

きするという利用層がいることは重要な結果であると考えていて、これまで外出できなかった方がその車両を導入することで外出出来ているということは健康福祉の面でも非常に重要なため、そういった方々の選択肢を増やして外出需要を顕在化させる点も重要な論点の一つだと思いますので、ぜひ併せて検討いただきたいです。

梶田会長 ありがとうございます。他にございますでしょうか？

増村委員 ずっと見守っていたかきまる号、つばめ号が本格運行になったということで喜ばしく感じております。ただ本格運行ということはシームレスに継続的な運行が出来るように検討を進めることが大事だと思いますので、本当にこの計画でいいのか、月曜日から金曜日まで、朝から夕方までの運行が本当に必要なのかなど検討していただきたいです。かきまる号のエリアを運行する事業者としては、午後の利用者ニーズはそう多くないと思われますので、月曜日から金曜日を運行するのではあれば午前中のみに集中する方が良いと思われます。その様な意味で、効率的に運行できるよう、地域にとって何が最適な運行曜日、時間なのか定期的に見直した方が良いと思われます。

有吉副会長 今の形ありきではなくで、どのようなターゲットに響いているのか、より細かく見直しをしていくことが必要になると思います。

谷岡委員 つばめプロジェクトとして参画しているつばめ号がこれから本格運行を進めるにあたって、他事例と同様に、これから協賛金等の周知を進めていくことも重要と考えるのでぜひ皆さんにもご協力いただきたいです。

川島委員 地域交通を活性化してもらえることは大変ありがたいと思いますが、まずは利用者にとって安全で安心できる取組を実施いただきたいです。中原区で実施されているチョイソコかわさき等あまり利用する機会がありませんが、利用する場合は会員登録が必要ということで、高齢者には難しい部分もあるかと思いますので、高齢者でも安心して利用できるような運用方法を検討いただければと思います。

梶田会長 はい、ありがとうございます。本格運行に進める地区も出てくる中で、また色々な視点から意見交換をしながら、議論を進めてまいりたいと思います。それでは、報告事項「地域公共交通に係る意見交換」については、以上といたします。本日の議事は以上となりますが、その他、皆様からご連絡事項等がありましたら、お願いいたします。よろしいでしょうか。

事務局 梶田会長ありがとうございました。

本日は協議事項及び報告事項 4 件の議事につきまして、円滑な進行にご協力いただき、改めて委員の皆様にお礼申し上げます。また、本日は梶田会長におかれましては、議事進行を頂き誠にありがとうございました。

来年度につきましても、引き続き各地区への支援の取組を進めるとともに、新技術・新制度を活用した取組を展開することで、コミュニティ交通の充実を図り、より利用しやすい地域公共交通環境の形成を目指してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。また、次回の本会議につきましては、9月中旬頃の開催予定となっておりますけれども、詳細が決定次第、皆さまにご案内をさせていただきます。尚、本日の議事録につきましては、事務局にて作成をさせていただきます。本

市のホームページ上で公開させていただきます。以上で、令和 8 年度第 2 回川崎市
地域公共交通会議を閉会とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。